

臨床ニュース

学会期間中、外傷患者の予後は悪化する？【JAAM2018】

岡山大病院・湯本哲也氏らの発表

m3.com編集部 2018年11月27日 (火)配信 一般内科疾患 一般外科疾患 整形外科疾患 救急 その他

心血管疾患や救急の領域ではマンパワーが手薄になる週末における患者予後への影響（weekend effect）の検討が進んでいる。さらに最近では、特定の診療科の専門医が多く集まる学会期間中の“national meeting effect”に関する研究が行われるようになってきているようだ。岡山大学病院高度救命救急センターの湯本哲也氏は日本外傷データバンク（JTDB）を用いて、この12年の日本救急医学会と日本外傷学会の総会・学術集会期間中とその前後1週間の外傷患者の死亡率に変化が起きているかを検討。第46回日本救急医学会学術集会（JAAM2018、横浜市）で発表した（m3.com編集部・坂口恵）。

12年間、24万症例から抽出

「心筋梗塞、脳卒中、緊急手術に関する先行研究では、週末の人的資源の減少が患者の死亡率上昇に関連するとのweekend effectが報告されている」と湯本氏。一方、「“national meeting effect”に関しては心筋梗塞、心停止に関する先行研究が存在し、本邦においてはいずれも学会期間中に明らかな変化はなかったと報告されている（Int J Cardiol 2016; 220: 929-936ほか）」そうだ。

湯本氏らはJTDBを利用して2004-2015年の日本救急医学会および日本外傷学会の総会・学術集会期間中と開催期間前と後の各1週間の3群での患者の院内死亡率に変化があるかを検討した。小児、来院時・現場での心停止例は除外した。2004-15年のJTDB登録症例数は約24万例で、各学術集会期間中の開催前、開催中の登録症例を抽出した。

ベースライン時の患者背景〔年齢、性別、緊急止血術または開頭血腫除去術、外傷重症度スコア（ISS）など〕に有意な違いはなかった。

単変量解析による、学術集会期間中を参照群とした場合の1週間前後の死亡率はそれぞれ8.0%（200/2492例）、7.3%（181/2481例）、8.5%（213/2518例）と有意な差はなかった。

止血術や開頭術の有無、ISS、施設ごとの登録症例数といった関連因子で調整した多変量解析による各群の院内死亡率のオッズ比も有意な差はなかった〔学会前：1.22（95%CI 0.96-1.55、P=0.111）、学会後：1.24（95%CI 0.97-1.58、P=0.086）〕

この他、登録症例数別の層別解析では多い施設ほど、そうでない施設に比べ院内死亡率が低い傾向が見られたが、学術集会期間中とその前後の有意な差はなかった。来院時の収縮期血圧（90mmHg未満とそれ以上で比較）、運営学会別の層別解析でも学術集会期間中とその前後の院内死亡率に有意な差はなかった。

「研究のきっかけは、“自分が学術集会に参加していた間に（自分がいたら）助けられた患者がいたのではないかと”と考えてしまうことが、特に若い医師に多いのではないかと考えたこと」と話した湯本氏。「外傷患者を対象としたシステマチックレビューにおいて明らかなweekend effectはないと報告されているが、今回の検討でnational meeting effectがないことも示唆された」と結論。「当然ではあるが、学術集会期間中に各施設で交替勤務などによる診療体制や診療の質の維持に努めていることが、今回の結果に寄与していると考えられる」と考察した。

発表者・湯本哲也氏への一問一答

——今回、先生が名付けた「学術集会後の死亡率への影響（post national meeting effect）に関する結果」について所感をお願いします。

人的資源が回復する、あるいは学会参加に伴うモチベーションのアップに伴い死亡率が低下する可能性も予測しましたが、そのような傾向は見出すことができませんでした。これは、「少なくとも学会期間中に死亡率が上昇することはない」とも解釈でき、ある意味当然の結果と捉えています。

——発表後「学術集会期間中には、もともと人的資源が少ないlow volume centerでの受け入れが不可能になり、（症例登録数が比較的多そうな）high volume centerへの転送が増えたから死亡率が低めに見える可能性はあるか」などの質問が出されていました。今後の展望を含めて、ご見解をお願いします。

近年の外傷診療システムの整備により、JTDBへの登録をしていないような施設に重症外傷患者が搬送される割合は減少してきていると思われま。特に重症外傷患者に絞ってでも網羅的な研究ができれば、より妥当な結論を導くことができると考えています。